

科目区分	基礎科目	科目名	生涯学習論		科目コード	18Y030	担当者	玉島 健二			
対象学生	幼児教育学科 2年生		学期区分	前期	単位数	2	担当形態	単独			
科目			施行規則に定める科目区分又は事項等			卒業要件		選択必修			
						免許・資格要件					
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
社会人として必要な事柄について学ぶとともに、柔軟なものの見方や考え方を身に付けることにより、生涯学習の基礎を理解する。						1. 「 尽心 」 誠実な人柄と人間力		2. 「 創造 」 高度な知性と創造力		3. 「 実践 」 明確な意思と実践力	
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 表現考・創造断力	⑤ 実主体力性・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	社会人として必要な知識、技能、態度を身に付ける										
2.	より善く生きるために必要な学びの重要性を理解する										
3.	人に関わる職種に就く者として、生涯学習を深める										
4.						◎	◎	○	◎	○	○
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						受講態度（40%） 提出物（60%）					
講義形式を基本にしながらも、学生自らが課題を設定して、まとめあげ、自分の意見を発表したり、制作物について説明したりするような時間もとります。受け身にならず、主体的に授業に臨んでください。授業終了後は、成果物またはレポートを提出してもらいます。											
準備学修						課題等への対応					
①日頃から新聞を読んだり、ニュースを見たりして時事問題に対して関心を持つこと。 ②準備学修として90時間を充てること。						提出された成果物やレポートは評価の対象となります。					
授業計画											
第1回	オリエンテーション（授業の内容と進め方、建学の精神等を学ぶ等）										
第2回	新聞の制作過程、新聞の見方・読み方を学ぶ（外部講師）										
第3回	新聞を読み、スクラップシートを作成する（外部講師）										
第4回	新聞づくりに挑戦する①（外部講師）										
第5回	新聞づくりに挑戦する②（長崎女子短期大学紹介）										
第6回	世界遺産について学ぶ①										
第7回	世界遺産について学ぶ②										
第8回	18歳選挙権について考える										
第9回	人口問題について考える										
第10回	時事問題について考える										
第11回	マナーや人権について考える										
第12回	発表のための手法について学ぶ										
第13回	長崎さるく体験①										
第14回	長崎さるく体験②										
第15回	報告書による発表										
試験	定期試験を実施しない										
教科書	各回ごとに、必要に応じて資料等配布します。				受講生へのメッセージ	生涯学習は、社会の担い手としての「まちづくり」の旗手を育てることを究極の願いとしています。建学の精神を踏まえ、思いを持って学び、視野を広めるとともに、卒業後は社会の中で指導的役割を果たしてほしいと願っています。					
参考書等	日ごろから新聞を読んだり、時事問題に関心を持って生活してください。										